

新型コロナウイルスワクチン

立春を過ぎ、巷では梅の花や早咲きの桜が春の訪れを伝えています。首都圏は春を思わせる穏やかな日和の週前半でしたが、週後半は一転して真冬の寒さに逆戻り、日本海側の各地は吹雪に見舞われています。こうした寒暖の繰り返しも季節の変わり目を感じさせます。

13日夜、福島県沖を震源に最大震度6強を記録した地震、気象庁の発表によると2011年3月の東日本大地震の余震とのことです。被災された皆様方には心よりお見舞い申し上げます。今年で大震災発生から丁度10年を迎えますが、未だにその地殻変動の影響を受けていることに驚かされます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により発出された特別措置法に基づく緊急事態宣言は、新規感染者数は減少に転じたものの、病床使用割合が依然として高いなど医療提供体制の逼迫が懸念されることから、栃木県を除く10都府県を対象に来月7日まで1ヶ月間延長されました。不要不急の外出自粛や飲食店の営業自粛等、国民の皆様方のご協力により感染症の拡大傾向は全国的に改善してきていますが、収束への目途は立たない状況に変わりはありません。

こうした状況の中、感染症収束への切り札と期待されるのが、欧米等を中心に進められている新型コロナウイルスに対するワクチン接種です。国内においても、昨年末にファイザー株式会社が申請した新型コロナウイルスワクチン「コミナティ筋注」が、2月14日に初めて特例承認されました。政府は、17日から医療従事者を対象にした優先接種を開始し、4月には65歳以上の高齢者を対象に接種を開始したいとしています。

ワクチン接種に当たっては、接種場所の確保や接種体制の整備、確実なワクチン輸送等、きめ細やかな準備が必要となっています。自民党政務調査会では、ワクチンの接種開始に先立ち「COVID-19ワクチン接種体制の構築に向けた提言」を2月9日取りまとめました。提言では、契約した量のワクチンが確実に供給されるよう万全を期すこと。具体的なワクチン供給スケジュールを明確にし、市町村等が接種日時等を明確に提示できるようにすること。集団接種における医療従事者の確保に努めるとともに、医療機関における個別接種も中心的な接種ルートと位置づけるなど多様なルートを活用して迅速に進めること。医薬品流通に精通している医薬品卸売業者をはじめ、多様な主体を活用して、医療機関に負担をかけることなく正確に小分け・配送すること。ワクチン接種による副反応に対応する体制整備や国民に対してワクチンに関する科学的で正しい情報を積極的に提供すること。等を盛り込み、政府に申し入れを行いました。

新型コロナウイルスのワクチン接種は、これまでに経験したことの無い大規模

なものとなります。ワクチンの接種体制の整備にあたっては、厚生労働省から日本薬剤師会に対しても協力要請がなされています。関係者の皆様方のご協力をお願いいたします。